

Techno Report

No158

新型高効率空調機への更新による省エネを

高効率空調機を導入し消費電力を削減することにより各発電施設における発電時のCO₂排出削減にもつながります。高効率空調機は消費電力・CO₂排出量を従来の空調機(10年前のインバーター機)と比較し約31%カットできます。

また新型空調機は、新冷媒R32の採用により環境影響度の目標達成度「A」を達成し、冷媒R410A機に比べ冷媒封入量が少ないため地球温暖化の抑制にも貢献します。

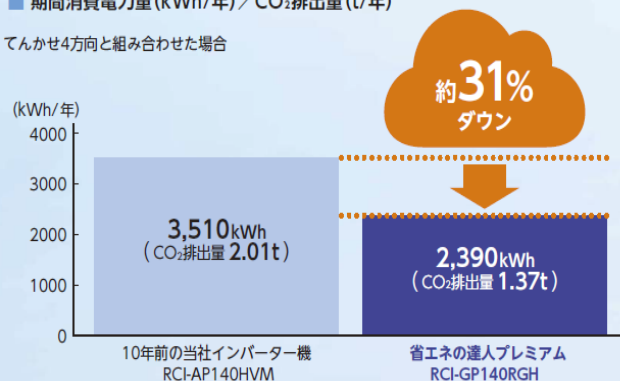
事務所や工場において「省エネはやり尽くした!」が、もう一手何かをお探しの時に是非とも新型高効率空調機への更新に取り組んでみてはいかがでしょうか。

消費電力量とCO₂排出量の低減

140型でてんかせ4方向と組み合わせた場合、10年前のインバーター機と比較して消費電力量とCO₂排出量を約31%カットしています。設定電力内で運転するセルフデマンド機能により、さらに節電効果が期待できます。(詳しくはP.37をご覧ください)

■ 期間消費電力量(kWh/年) / CO₂排出量(t/年)

てんかせ4方向と組み合わせた場合



■ 算出条件

規格	JIS B 8616:2015
地区	東京
建物用途	店舗
使用期間	冷房 5月7日~10月17日
	暖房 11月21日~4月3日
使用日数	週7日
使用時間	8:00~21:00

(電力:注)期間消費電力量はJIS B 8616:2015に基づいた計算値であり、実際には地域やご使用条件により変わることがあります。(CO₂:注)CO₂排出係数 0.570kg-CO₂/kWh
電気事業連合会 2013年度実績値による。

新冷媒R32の採用で 環境影響度の目標達成度 「A」^{※3}を達成

従来の冷媒R410Aに比べて地球温暖化係数^{※4}が約3分の1^{※5}の新冷媒R32を採用。これにより、フロン排出抑制法に基づく環境影響度の目標達成度「A」^{※3}を達成しました。さらに、冷媒R410A機に比べ冷媒封入量が少ないため、地球温暖化の抑制に貢献できます。

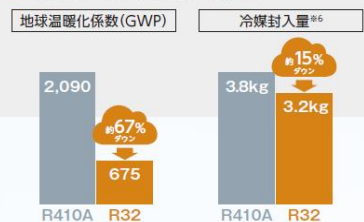
※3. フロン排出抑制法に製品ごとに定められたフロン類からの転換目標値を達成したものを「A」とし、転換目標値に対する達成度合いに応じて多段階で表示する記号。

※4. 地球温暖化に与える影響を数値化したものを示します。数値が大きいほど温暖化への影響が強いことを示します。

※5. 出典「IPCC 第4次評価報告書」温暖化係数(GWP)100年値。
温暖化係数2090(HFC-410A)と675(HFC-32)の比較。

詳しくは P.310 をご覧ください。

■ 新冷媒R32と冷媒R410Aの比較



※6. 当社「省エネの達人プレミアム」140型の製品出荷時冷媒封入量における比較。

■ JIS制定フロンラベル
新冷媒R32は2020年度
目標値(GWP:750)を
クリア



日立アプライアンス株式会社

発行 藤田テクノ株式会社 テクノレポート発行委員会

2016年5月発行

〒370-0069 群馬県高崎市飯塚町1174-5 TEL 027-361-8111 FAX 027-329-6221

太田支店 TEL 0276-46-1348 埼玉支店 TEL 049-279-3011 問合せ先: 技術課/杉本、発行委員会

URL: <http://www.fujita-tec.co.jp>

本紙は、弊社よりの納品書等の郵送時に同封させていただきますので重複等が発生する事がございます。予めご了承下さい。